

## 根本正顕彰会会報 第7号

(平成10年11月30日)

### 1. 東京視察研修報告

11月7日(土)に東京視察研修(根本正ゆかりの地を訪ねる)が実施されました。

当日は雨の予報でしたが、参加者の熱意と根本正先生のご加護のためか一滴の雨も降らずに予定通りの日程を消化することが出来ました。

参加者は22名(後記)で、東京から根本正廣氏ご夫妻、またアメリカ在住の丸山和昭氏(根本喜代寿氏長女の主人)が参加されました。

視察先は、国會議事堂(衆議院)\*、安藤記念教会、青山霊園、水戸藩屋敷跡の小石川後楽園の4ヶ所でした。

なお、後楽園から青山霊園へ向かう途中、明治5年頃、正が「牛込二十騎町」の長屋から徒歩で通った中村敬宇先生の「同人社」跡地周辺を車中から見学しました。

安藤記念教会では佐野牧師のお話を伺いましたあと、教会长老の角谷貞夫氏(正の孫で当会会員)に案内して頂きました。

礼拝堂では、安藤太郎氏がハワイ総領事のとき、文子夫人が榎本武揚大臣から贈られた酒樽を打ち壊し(このことが太郎氏の禁酒のキッカケとなった)、その破片で作られた花置き台を、応接室では、太郎が正に宛てた“学生に禁酒を守る下宿の紹介を依頼する文書”や榎本から太郎に宛てた文書など興味ある記念品を拝見させて頂きました。

青山霊園では、根本正廣氏(正の孫で当会会員)に案内して頂きました。

根本家の墓はミセス・ツルー\*\*が眠る外人墓地の南側にあり、きれいに手入れがされていました。全員がそれぞれ、正先生の靈前に献花を行いました。

次いで、「大日本禁酒翁」の柱が立つ安藤太郎・文子夫妻の墓に花束を捧げました。

今回の視察に際しては、当会顧問の小宅町長のご好意により町のバスを利用させていただきました。

今回の視察研修の参加者は次の方々です。(会員番号順、敬称略)

氏名	氏名	氏名	氏名
根本 正廣	鹿志村孝子	遠藤 和男	根本 孝子
根本 和子	横地 富子	高畠 精一	根本 正治
安斎 寧	大友 悅子	吉沢金次郎	高畠 静雄
安斎 一子	海野 徹	吉沢美代子	丸山 和昭
寺門 厚	柏村 一郎	根本 正男	——
會澤 義雄	片野 直行	根本喜代寿	——

参加者に ① 訪問先数 ② 見学時間 ③ 会費（3,000円） ④ 資料 ⑤ 視察研修希望地 ⑥ 感想 ⑦ 顕彰会運営への注文等 についてアンケートをお願いいたしました。

その結果、①～④ については、殆どの方が「適当である」との回答でした。

⑤ 視察研修希望先 については、

- ・ アメリカ・バーモント州
- ・ 高萩市 —— 長久保赤水顕彰会との交流
- ・ 水郡線沿線 （例）<往>バスで元有力支持者宅～大子駅～大子小学校～十二所神社～埼町 <復>JRで埼駅～上菅谷駅

が挙げられましたが、“アメリカ研修は最大の魅力ではありますが、足元・身近なゆかりの地から順次たしかめていく姿勢もあって欲しい”とのご意見もありました。

⑥ 今回の視察研修の感想 は次の通りです。

- ・ 大変興味のある所を選定され、楽しく理解でき、体験できて有意義であった。
- ・ 大変良かった。国會議事堂は予想通り。後楽園、安藤記念教会は百聞は一見に如かず。安藤記念教会と根本正先生との特別の関係についても理解を深めた。
- ・ 安藤記念教会を訪問して、「クリスチャン」としての根本正について更に顕彰をする必要が大であることを痛感しました。
- ・ 根本先生のお墓参りが出来たこと、何か感動してしまったです。  
バスの中もとても有効に時間をとり、机の上の勉強会でない、リラックスした研修が出来てとても良かったと思います。
- ・ 国會議事堂も安藤記念教会もとても有意義でした。
- ・ 郷土出身の尊敬する偉大な政治家根本先生ゆかりの地を先生の直系のご親族ともども同行参加できましたこと、最高の研修の旅と感謝しております。
- ・ 何事も良く行き届いておりまして感謝いたしております。
- ・ 個人ではなかなか行けないところなので大変良かったと思う。
- ・ 遠藤さんのガイドが特に良かった。もう一度同様のコースで企画してみては如何でしょうか？
- ・ 個人的に由緒ある史跡等を視察することはむずかしいことです。  
この度の企画に参加させていただき有り難うございました。  
ご労苦に心より感謝申し上げます。

- 最初は時間的にきびしいのではと思いましたが、結構ゆったり出来て良かった。  
特に安藤記念教会が印象的でした。  
また、青山靈園もジンとくるものがありました。

⑦ 頸彰会の運営への注文等 は次の通りです。

- 毎回の会合、委員会の出席者も顔ぶれはいつも同じですが、気ばらず、足早ではなく、歩みは遅くともしっかり地歩を固めてゆければと思います。
- 「根本正記念館」を町営で設立したいものです。
- 私自身の勉強が足りないことを深く反省しております。  
いつもいただく資料は、会員の私より夫が毎回楽しみに読んでおります。
- 短期・中期・長期の展望を明確にして、その実現のための行動計画を策定してはどうでしょうか？
- 本当にボランティアに徹して企画運営されていることに感謝あるのみです。  
よろしくお願ひいたします。

なお、9月に実施しましたアンケート調査での要望事項と対応につきましては、5ページをご参照願います。

\* 議会活動（根本正「履歴書」より）

· · · · · （前略） · · · · ·

1. 明治31年より大正12年まで26ヶ年間帝国議会に於いて、数多の法律建議及質問を提出し、国利民福を実行せしもの別紙に詳記\*せり。

\* その主義を制定せられたる法律4件、建議せしもの20件、政府に質問し国利民福を増進したるもの24件。明細は省略します。

1. 明治24年以来帝国議会に於いて、海外移民商工業視察の必要を提案し、その通過の結果、海外移民探検及商工業視察として外務省及農商務省よりメキシコ、中央アメリカ、南米ブラジル及インド地方へ4回出張を命ぜられ、その都度大部の報告書を提出し、その結果南米ブラジル国サンパウロ州へ現に数万人の移民を送り、海外貿易を増進するに至れり。

斯くの如きは昔日官にありては榎本外務大臣、野にありては板垣伯の先見ある政策に出たるものとす。

\*\* ミセス・ツルー

新栄女学校（後に女子学院）の校長。正の夫人徳子は上京後、新栄女学校に入学し、ツルーの教えを受けた。

## 会報第7号(平成10年11月30日発行)より

### 2. 「根本正展」開催

根本正顕彰会では、那珂町主催の「なかいきいきフェスタ'98」に協力して11月21日(土)～11月23日(月)の3日間、中央公民館2Fロビーにて根本正の人間像並びに業績を紹介する「根本正展」を開催しました。

多くの人々に那珂町出身の政治家「根本正」を知っていただき、その精神を那珂町に息づかせることを願って根本正の素顔と実績を展示することとしたものです。

今回の展示品は、多くの方々のご協力により、直筆の掛け軸・色紙・写真や明治天皇ご下賜の茶碗・愛用のカップ、スプーン・当選証書・履歴書・議会報告書・茨城県知事による五臺村への寄付感謝状、政友会総裁原敬および支持者の当選祝寄せ書き・聖書・著書・アメリカに於ける根本正ゆかりの地(地図)やインターネットによる紹介など多岐に亘っており、見学者に深い印象を与えることが出来ました。

また、那珂町立横堀小学校(平野和武校長)のご協力により、同小学校6年生の「根本正自主研究作品」も同時に展示させていただき、質量共に充実した「展示会」となりました。

この作品展を契機として、若い世代が根本正についての認識を深めていただくことを期待しております。顕彰会も広範囲に働き掛けを行いたいと思っております。

同会場では「那珂町民芸術祭」も開催されており、多くの方に「根本正」コーナーも見学していただきました。

また、マスコミにもお願いした結果、「朝日」・「毎日」・「茨城」・「新しいばらき」・「よみうりタウンニュース」で記事に取り上げて頂きました。(別紙参照)

「根本正展」についての報道で、特に横堀小学校の児童の研究発表を中心に取り上げられたことは有り難いと思っております。

私どもは、子供たちのために、そして子供たちの未来のために頑張った根本正が子供たちによって取り上げられることを本当に嬉しく思っております。

子供たちが小学校時代に根本正を知り、「20才までは煙草や酒を飲まないとか一生懸命努力することが大切であるとか、どのような人にも平等に接し、どのような人も大切にし、人にやさしく自分にきびしく、世の中のために尽くそう・・・からはじまって議会制民主主義の大切さ、清潔な政治、国際的視野の必要性・・・」など様々な教訓をそこから得てくれたらと思います。

なお、次の方々に準備、受付、案内をして頂きました。厚くお礼申し上げます。

日付	区分	氏名		内容
20日	午後	柏村 一郎	安斎 寧	準備
		遠藤 和男	海野 徹	
		白土 喜弘	根本 正治	

日付	区分	氏名		内容
21日	午前	遠藤 和男	青山 壱美	受付・案内
	午後	遠藤 和男	寺門 厚	
22日	午前	高畠 精一	横地 富子	〃
	午後	高畠 精一	根本 正治	
23日	午前	柏村 一郎	横地 富子	〃
	午後	安斉 寧	白土 喜弘	
23日	展示終了後	柏村 一郎	安斉 寧	撤去
		高畠 精一	遠藤 和男	
		海野 徹	白土 喜弘	

### 3. 次回例会のお知らせ

- (1) 日 時 平成11年1月17日(日) 午後2時  
 (2) 場 所 中央公民館2階  
 (3) 議 題 ① 明治・大正期の根本正についての新聞報道  
                   ② 根本正の今日的意義とその精神を生かすための取組みについて  
                   ③ アメリカ視察研修について

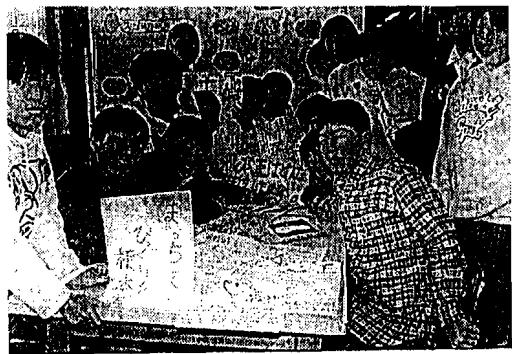
多くの方々のご参加をお待ちしております。

\*\*\* 9月に行いましたアンケート調査での要望事項と対応 \*\*\*

- ① 根本正についてのマンガ入りの伝記を作り、学校・図書館などに常備するほか市販してはどうか?  
 ————— そのつもりでおります。
- ② 加藤先生の「根本正伝」を是非とも入手したい。何とかならないか?  
 ————— まもなく再版される予定です。定価は2,000円+消費税100円になるそうです。
- ③ 那珂町内の会員を増やすために町報、公民館活動、退職公務員会その他いろいろな機会を利用してはどうか? 他町村にも同様に働き掛けてはどうか?  
 ————— 皆さんとご相談しながらそのようにして行きたいと思います。
- ④ 研究例会の開催時間について午後は中途半端になるので、午前中に開催できなかいか? 特に冬場は終りが遅くなり大変である。(遠隔地の方より)  
 ————— 検討してみますが、今までのところ午後2時からが大多数です。
- ⑤ 特技のある人として「那珂町の民話」のさし絵を描かれた桧山学氏がおられますが?  
 ————— 今までマンガを描く人を公募してはという意見が出ていますが、皆さんと相談してみます。

# 郷土の先人児童ら表現

きょうから町芸術祭で作品公開



「根本正」の生涯を個性的に再現した作品と子供たち=那珂町立横堀小図書室

「政治のスイッチを切り戻した」「死ぬまで地元に尽くしたすごい人」。町の先人のメッセージを、半世紀後の小学生が現代に息づかせた。那珂町出身の代議士根本正（一八五二—一九三三）の生涯を、町の子供たちがアイデアいっぱいの方法で再現した。個性的でユニークな切り口の作品は、二千一百からの町芸術祭で一般公開される。

根本氏は、今世紀前半に

（平野和武校庭）の六年生

五十八人が国語の授業で作

った。

根本氏は、今世紀前半に

未成人者飲酒禁止・禁煙法

を議員提案で実現させたほか、水郡線敷設計画に尽

した。

子供たちは伝記から読み取った根本氏の生涯の出来事や業績を、挿絵入りの作

文やカルタ、模造紙いっぽ

いのすごろくや年表など思

い思いの手芸で表現。さら

に、感じ取ったメッセージ

や感想を「死ぬまで地元や

青少年のために尽くしたす

ごい人」「つらいことにへ

こたれない」などと自分で

りの言葉で書き加え、單調

生き生きと表した。

茨城新聞

（平成10年11月21日）

那珂町で21—23日に「根本正展示会」

## 横堀小児童らの「研究作品」など展示

明治・大正期に活躍した那珂町出身の政治家根本正を紹介する「根本正展示会」が11月21—23日に、同町福田の中央公民館で開かれる。同氏は、義務教育の無償化や未成年者の禁酒・禁煙法の制定、水郡線敷設など多くの功績を残している。このほど生誕地

の同町東木倉では、根本正顕彰会（柏村一郎会長）によって、その功績をたたえる石碑も建てられた。展示会は、同町主催の「いきいきなかフェスタ'98」に協力した企画で、白筆の掛け軸や議会演説記録、衆議院議員当選証書などの遺品や資料などが展示される。また、地元・横堀小学校6年生に



よる根本正についての研究作品も併せて展示される。指導に当たった山本昌美教諭は「郷土の偉人に目を向けるきっかけになり、子供たちも自発的に取り組んでくれました。工夫を凝らした作品を見て下さい」と話している。展示会の問い合わせは柏村さん（☎ 029-298-6882）。

義務教育無償化などに貢献

「根本正」の業績紹介

那珂町で  
展示会

那時明出身の衆議院議員として明治、大正期に活躍した政治家、根本正（1861—1933年）の業績を紹介する展示会がこのほど、同町福田の中央公民館で開かれた。

根本は28歳で単身渡米し、10年間政治学を学んで帰国。1893年の初当選

根本は28歳で単身渡米して、10年間政治学を学んで帰国。1893年の初当選から26年間にわたって衆院議員を務め、義務教育の無償化や未成年禁煙・禁酒法の成立に尽力したほか、水郡線の全面開通などに貢献した。

展示会では、岡町立横堀小6年の児童58人による研究発表が展示されたが、力

ラフルなさざなくやクイズ形式で郷土の政治家の一生をたどるなど、アイデアをこらした力作ぞろい。中には新聞形式で功績を取り上げ、コラム欄で感想を書いた大人顔負けの作品も。

同小6年の喜田奈津美さんは「分かりやすく、見やすくて心掛けて作文を作りました。根本正が現在の私たちのことを心配して一生

い人がいたかと鮮かな反応を見せてくれた。授業の後は郷土に泊りを持ったふうです」と話していた。また、岡町東木舎にある根本の生家に住む子孫、根本高代寿さん(73)も会場を防れ、「正の仕事が少しでも今の子どもたちの心に届けば」と作品に力を細めていた。

A black and white photograph capturing a moment in a kitchen or food preparation area. A person, dressed in a light-colored apron over a dark shirt, stands in the center of the frame, positioned in a doorway. They appear to be engaged in some task, possibly related to food service or preparation. The surrounding environment is filled with various pieces of kitchen equipment and supplies. To the left, there's a large metal shelving unit holding numerous items. In the foreground, a long wooden table or counter is visible, with what looks like a scale or a tray resting on it. The background is dominated by a large, dark structure, likely a refrigerator or a walk-in cooler. The lighting is somewhat dim, creating a candid, documentary feel to the photograph.

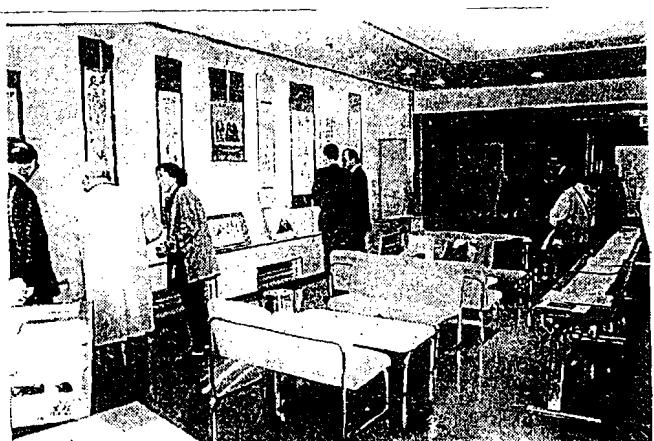
多くの来館者呼ぶ  
根本正展、きょうまで

那珂中央公民館

那珂郡那珂町東木倉出身で、明治から大正にかけ衆議院議員を務めた郷土の偉人。根本正の業績を偲ぼうと、同町の中央公民館で根

の偉人についで  
研究の成果も展  
訪れた町民たち  
本の偉大さに感  
る様子だった。

本正臣が始まり多くの町民でにぎわっている。会期は、きょう二十三日まで。示す手紙や写真、記録のほ



多くの来館者でぎわう根本正展